MUSEUM NEWS

2018.6 ► 2018.7

浦沢直樹展
描いて描いて描きまくる！ - 埼玉の巻 -

とき・7/7(土)～9/2(日)
ところ・2階展示室
内容・現役最高峰の漫画家として活躍する浦沢直樹（1960-)。この展覧会では、合計1000点超の膨大な原稿をはじめ、ストーリーの構想メモ、ネーム、秘蔵のイラストやスケッチ、少年時代の漫画ノートにいたるまで、浦沢作品誕生の秘密に迫る資料の数々を公開します。
観覧料・一般1100円(880円)、大高生880円(710円)
※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》
○ライブ&ドローイングイベント「浦沢直樹のひとり漫勉歌って語って描きまくる！」
とき・7/21(土)14:00～15:30
ところ・2階講堂
内容・音楽活動も行っている浦沢直樹氏が、自ら演奏した音楽に乗せてその場で描く、躍動感あるイベントです。
定員・100名(事前申込先着順)／**費用**・無料
応募方法・当館ホームページから、お申込みフォームに必要事項をご記入のうえ、送信してください。申し込み受理メールをもって、受付完了とします。定員に達し次第、受付終了となります。
受付開始日時・6/18(月)午前10時～

浦沢直樹氏

○ギャラリートーク
とき・7/28(土)15:00～(30分程度)
ところ・2階講堂
内容・美術館スタッフが本企画展の魅力を解説します。
費用・企画展観覧料が必要です。

アート体感ワークショップ MOMASのとびら

とき・土曜日 13:30～15:00
対象・幼児から大人まで
費用・『工房』は５００円。その他無料。
申込方法・館内で配布する申込用紙によりＦＡＸでお申し込みください。申込用紙はホームページからもダウンロードできます。

○7月分のお申込みを6/1（金）から受け付けます。
7/7（土） アート★ビンゴ
[どなたでも]※申込不要
7/14(土) み～っけ！
[4～6歳＋保護者]
7/21(土) 工　房
[小学生～大人]
7/28(土) フリープログラム
[どなたでも]※申込不要

○8月分のお申込みは7／1（日）から受け付けます。
MOMASのとびら拡大版、サマー･アドベンチャーを8/4(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土)に実施します。
詳しくは別途お知らせします。

参考写真

MOMASコレクション(収蔵品展)

2018年度 第1期
とき・4/21(土)～7/8(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。
※県展開催期間中（5/29～6/20）はMOMASコレクション観覧料が半額になります。
※会期中の毎日14時から30分程度、美術館サポーター(ガイド･ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

◇ セレクション：シャガールとかフジタとか
人気の高いマルク・シャガールやレオナール・フジタの作品を中心に、西洋・日本の近代絵画をご紹介します。
◇ さいきんのたまもの
近年、新たに当館のコレクションに仲間入りした作品をご紹介します。

《関連イベント》
○サンデー・トーク
内容･学芸員が展示作品から1点を選んで展示室内で解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。
とき・6/17(日)15:00～15:30
作品･ヨーゼフ･ボイス《プリント1、プリント2》1971年(寄託作品)
担当学芸員・大浦 周
とき・7/8(日)15:00～15:30
作品・竹岡雄二《プロトタイプII背面補強》1992年
担当学芸員・渋谷 拓

©VG Bild-Kunst

2018年度 第2期
とき・7/14(土)～10/14(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。
※7/14(土)、15(日)を除く会期中の毎日14時から30分程度、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

◇ セレクション：ピカソとかデルヴォーとか
キュビスムの画家パブロ・ピカソやシュルレアリスムの画家ポール・デルヴォーなど、西洋の名画に日本近代の作品を交えて紹介します。
◇ 大熊家コレクションの名品から
平成19年度、25年度に寄贈された日本画のコレクションから、選りすぐりの作品を紹介します。
◇ 埼玉の洋画
寺内萬治郎、高田誠、塗師祥一郎など、埼玉の洋画を代表する画家たちの作品をコレクションから紹介します。
◇ 吉田克朗：プランと実践
吉田克朗(1943-1999)の《650ワットと60ワット》が生み出された背景について、資料を交えて探ります。「もの派」の作例として語られてきた本作品を、新たな視点から再考する試みです。

一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。
※展示により開室時間（特に最終日の終了時刻）が異なります。

◆ 5/29(火)～6/20(水)
第68回埼玉県美術展覧会(県展)(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)……一般展示室1～4ほか
◆ 6/27(水)～7/1(日)
第37回埼玉県高等学校写真連盟写真展(写真)……一般展示室1
第37回キヤノンフォトクラブ浦和写真展(写真)……一般展示室3
◆7/3(火)～7/8(日)
埼玉独立展(油彩、アクリルほか)……一般展示室1
2018埼玉モダンアート展(水彩、油彩、版画、スペースアート)……一般展示室2･3
接点－ファイナル(ドローイング、彫刻ほか)…一般展示室4
◆7/10(火)～7/15(日)
武蔵野美術大学卒業生会東京埼玉支部展(日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、工芸)……一般展示室1
第25回基の会展(油彩、アクリル)……一般展示室2
第31回白の会洋画展(油彩)……一般展示室3
◆7/17(火)～7/22(日)
第45回埼玉二紀展(油彩、彫刻)……一般展示室1～4
◆ 7/24(火)～7/29(日)
第90回記念新構造展第56回公募新構造埼玉展(油彩、水彩、ドローイング、版画ほか)……一般展示室1
第6回華耀会展(日本画)……一般展示室2
第7回橡の会展(日本画、水彩、油彩、ドローイング、アクリル)……一般展示室4
◆7/31(火)～8/5(日)
第28回旺玄会埼玉支部展(日本画、水彩、油彩、版画、アクリル)……一般展示室3･4

さいきんのたまもの②
―現代版画センター　エディション・コレクション作品を収蔵しました

「版画」というメディアの特質を生かし、その普及とコレクターの育成を目指して1974年に誕生した版元組織・現代版画センターは、約11年の活動期間に、およそ80人の美術家と協力して700以上のエディション作品を生み出しました。昨年度末に開催した企画展「版画の景色　現代版画センターの軌跡」では、版画の可能性を追求したその活動を多数の作品と資料で辿りました。同展覧会が契機となり、平成29年度、展覧会に出品された作品の内一部を除く、45作家278点の作品を、有限会社ワタヌキ / ときの忘れもの 取締役 綿貫令子氏よりご寄贈いただきました。

このたびコレクションに加わったのは、現代版画センターの記念すべき最初のエディションである靆嘔《I love you》にはじまり、関根伸夫、島州一、オノサト･トシノブ、菅井汲、宮脇愛子、難波田龍起、草間彌生など、錚々たる作家の作品群です。また、磯崎新のように建築家など他ジャンルの作家が手がけた作品や、現代版画センターが直接作家に交渉して制作が実現したアンディ・ウォーホルの「KIKU」シリーズなども、同センターの活動を語る上で欠かせません。さらに、現代版画センターが旧蔵していた北川民次、瑛九、駒井哲郎の作品も大変貴重です。

これら第一線で活躍する作家と、高い技術を持つ刷り師の力が合わさって生み出された作品は、今もなお色あせない輝きを放っています。今回収蔵された作品は、現代版画センターが生み出した作品の総体からすれば一部ではありますが、それでもその活動の熱気を伝えるに相応しい作品群であるといえるでしょう。

展覧会では、敢えて順路を設けない会場構成や随所に投影される記録写真によって、多様な作品の魅力や時代の熱い空気を伝える展示がとても好評でした。また、会期中には、数多くのエディションを手がけた刷り師・石田了一氏と、センターの活動にも関わっていた多摩美術大学教授・西岡文彦氏をお招きし、満員の来場者の熱気に包まれる中、現代版画センターの活動を振り返るトーク・イベントを開催しました。石田氏、西岡氏、関係者の方々、そしてイベントにご参加いただいた方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

ご寄贈いただいた作品は、今後、MOMASコレクション等で折に触れてご紹介するとともに、併せてご寄贈いただいた会員向けの刊行物などの図書資料も活用しながら、調査研究を進めていきたいと考えています。すでに当館で収蔵している、版画や戦後美術のコレクションとも組み合わせることによって、さまざまな側面から作品の魅力をお伝えしたいと思いますので、どうぞご期待ください。(H.S.)

「版画の景色　現代版画センターの軌跡」会場風景（撮影：タケミアートフォトス）

ミュージアム･ショップおすすめ商品

今回は、人気のフラワーベースから新柄のご紹介です。一見すると何気ないビニールバッグのようですが、水を入れるだけで美しい花瓶に変身します。

水を入れた時の光の屈折が美しく、割れることもないため安全で、折り畳むと場所をとらずに収納もできます。

ちょっとしたプレゼントにいかがでしょうか。(H.N.)

フラワーベース
1袋2柄入り
1,000円(税別)

編集後記

ソカロ史上初！副館長による企画展紹介記事、お楽しみいただけましたでしょうか。展覧会の枠が広がると、ソカロ執筆者の枠も広がるようです。(G.U.)

この春からソカロ編集を担当することになりました。思った通り（思ったより？）編集は難しく、まだまだ勉強が必要です。頑張ります！（S.Y.)

埼玉県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Saitama

所在地･〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL･048-824-0111 **FAX**･048-824-0119 **URL**･http://www.pref.spec.ed.jp/momas/
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
開館時間･10:00～17:30（展示室への入場は17:00まで）
休館日･月曜日(7/16は開館)、6/26(火)　**入館料**・無料　**観覧料**・上記をご覧ください。

交通･JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・教育・広報担当 梅津元・谷田昇平　**原稿執筆**・(T.K.) 加藤哲之 / (T.S.) 渋谷拓 / (H.S.) 鴫原悠 / (H.N.) 名古屋仁美 / (G.U.) 梅津元 / (S.Y.) 谷田昇平　**デザイン協力**・埼玉大学 高須賀研究室